

会 告

第 13 回西山記念技術講座開催のお知らせ

テーマ：構造用形鋼に関する諸問題

本会主催の第 13 回西山記念技術講座を下記により開催いたしますので奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

1. 期 日 昭和46年 8 月 26 日 (木), 27 日 (金) 9:30~17:00
2. 会 場 農協ホール (千代田区大手町 1-8 農協ビル 9 階 TEL 03-279-0311)
3. 演題および講師
 第 1 日 8 月 26 日
 9:30~12:00 構造用形鋼製造技術について 新日本製鉄 渡 辺 秀 夫君
 13:00~15:30 繰返し荷重を受ける建築構造物の弾塑性性状 京都大学 若 林 実君
 第 2 日 8 月 27 日
 9:30~12:00 長大橋と高張力鋼 本州四国連絡橋公団 田 島 二 郎君
 13:00~15:30 構造用形鋼材に関する現状とその問題点
 ー建築設計者の認識と提言ー 日建設計 多 田 英 之君

4. 聴 講 無 料

5. テキスト代 1300円

6. 連 絡 先 日本鉄鋼協会技術部編集課 Tel. 03-279-6021

7. 講 演 概 要

1. 構造用形鋼製造技術について 新日本製鉄 渡 辺 秀 夫君
 構造用形鋼のなかで、最近主として用いられている H 形鋼にしばり、その製造技術について述べる。
 1. H 形鋼の生いたち, 2. H 形鋼の製造方法, 圧延方法, 圧延機, レイアウト等, 3. H 形鋼の特徴, 材質および寸法精度, 4. H 形鋼の圧延機構, 5. H 形鋼の残留応力, 6. 超極厚 H 形鋼の材質
 7. 今後の課題 使用者, 製造者の立場にたつた今後の課題。
2. 繰返し荷重を受ける建築構造物の弾塑性性状 京都大学 若 林 実君
 建築構造物が地震力のような繰返し力を受けるときの弾塑性性状についての実験結果および解析の方法などについて概説する。まず材料・部材・接合部などの低サイクル疲労の問題について簡単に述べる。次に部材ならびに接合部の履歴特性について述べ、さらにこれらの組み合わせによつて構成される純フレームおよび筋違付きの骨組の履歴特性に関する実験ならびに解析について述べる。
3. 長大橋と高張力鋼 本州四国連絡橋公団 田 島 二 郎君
 わが国の橋梁の標準設計示方書での使用鋼材は、道路橋において SM58 まで、鉄道橋において SM53 までの強さである。しかし、最近の橋梁長大化の傾向は、より高強度な鋼材の実用化によつて支えられ、既に着工された大阪の南港連絡橋、現在計画が進められている本州四国連絡橋では、80キロ鋼までの採用が考慮されている。この小文は、本四架橋においてこれら高張力鋼を採用するに当り、設計面よりの調査の概要を紹介するものである。
4. 構造用形鋼材に関する現状とその問題点 日建設計 多 田 英 之君
 ー建築設計者の認識と提言ー
 先づ、鉄骨構造物設計における一般手法について概説し、その中で、接合部設計と部材断面決定のからみ合い、および鋼種決定に関する市場コストと納期の問題がどのような影響を設計に与えているかを述べる。
 次に、形鋼材に関する私の認識を明らかにし、主題に触れる。すなわち形状寸法と製品シリーズにおける加工法の進歩、設計技術の発展と新形鋼材のメリット、デメリット、などについて述べ設計実績からの使用動向を分析し、設計者としてどのような点に関心をもちその改善を期待するかを述べる。

第 82 回 講 演 大 会 見 学 班 表

班別・定員	見学地域	日程	見 学 場 所	所 在 地
1 50名	金 沢 市	10月 15日	* 津田駒工業(株)	金沢市野町 5-18-18
	小 松 市		* (株)小松製作所 粟津工場	小松市符津町ツ23
	小 松 市		那谷寺拝観	
2 50名	高 岡 地 区	15日	* 北星アルミ(株) 本社工場	高岡市金屋本町 1-5
			* (株)老子製作所	高岡市金屋本町 3-7
			* 三協アルミ(株) 福光工場	富山県礪波郡福光町小林 100
			井波別院	〃 〃 井波町
3 50名	富 山 地 区	15日	* (株)不二越	富山市石金20
			(株)広 貫 堂	富山市梅沢町 2-9
			神通川発電所	
4 50名	石 川 県	15日 ~ 16日	能登半島一周遊覧	
5 50名	石川 能登 地 域	15日	口能登一周遊覧	
6 (婦人コース) 50名	金沢市内	13日	金沢市内遊覧	

- 注) 1. 見学班中 * 印は同業者の見学をお断りいたします。
 2. 全班とも工場内での写真撮影はお断りいたします。
 3. 見学会への申し込みは別添申込書にてお申し込み下さい。
 4. 第4班の申込み締切は、観光シーズンになりますので8月28日(土)といたします。
 その他の班は9月20日(水)といたします。
5. 宿泊旅館斡旋
 原則として行なわない。
 但し下記ランクの旅館は下記要領により申込まれば日本旅行社にて斡旋致します。(なお10月は観光シーズンですので早目にお申し込み下さい。)
 A級: 3500~4000円 B級: 3000円程度 C級: 2500円程度
 1. 申込先 (〒920) 金沢市下堤町35 株式会社日本旅行 金沢中央営業所
 電話 (市外局番 0762) 62-0411

主要生産品目	見学時間	集合・解散時間・場所	参加費・備考
繊維機械（超自動織機、自動織機、ワーピングサイザーなど）および工作機械アタッチメント（インデックス円テーブルなど）の製造販売	9:20 ～10:20	集合： 9:00 金沢駅 解散： 16:50 〃	1500円 昼食・拝観料含む （加賀温泉下車可）
ブルトーザ、モータグレーダ、パワーショベル、フォークリフト、ダンプトラック、ショベルローダプレス、雪上車、鑄工プラント	13:40 ～15:40		
アルミ家庭用品、一般アルミ建材用品、住宅用アルミサッシ、アルミショーケース、アルミ事務用品、アルミ板	10:00 ～11:00	集合： 8:50 金沢駅 解散： 18:00 〃	1600円 昼食費・拝観料含む
銅合金鋳物、各種鐘専門	11:10 ～12:00		
アルミ工業製品、サッシ、建材用品、家庭用アルミ製品	14:00 ～		
精密切削工具、精密金型測定機械、軸受治具、工作機械油圧機器、減速機、工業炉、工業用ロボット等	10:30 ～12:00	集合： 9:20 金沢駅 解散： 18:00 〃	2000円 昼食費含む
薬品製造業	13:10 ～14:00		
北電水力発電	15:00 ～16:00		
金沢駅—千里浜ナギサドライブ—敵門—総持寺—輪島—時国家—曾々木（泊）—狼煙崎—九十九湾—穴水—和倉—金沢駅		集合： 9:20 金沢駅 （15日） 解散： 18:00 〃 （16日）	8000円 昼食費・宿泊料・ 拝観料含む
金沢駅—能登金剛—門前総持寺—輪島—塗見学—和倉温泉—金沢駅		集合： 9:00 金沢駅 解散： 19:30 〃	2000円 昼食費・拝観料含む （和倉温泉下車可）
金沢駅—百万石文化園江戸村—兼六園—妙立寺（忍者寺）—加賀友禅団地—丸谷焼—金沢駅		集合： 9:00 金沢駅 解散： 16:30 〃	2000円 昼食費・拝観料含む

ロ. 申込方法およびその他

a) 往復ハガキにて申込むこと.

b) 温泉地への希望の有無.

c) 申込者の所属学会名を明記して下さい.

（日本鉄鋼協会、日本金属学会各講演大会以外の大会も、この時期に行なわれますので）

ハ. なお以上は、金沢市内およびごく近距離を対称としておりますが、下記温泉地宿泊希望の方は直接交通社にお申込み下さい。会場までの時間は次のとおりです。

名 称	金沢市までのバス所要時間	国鉄最寄駅
和倉温泉（能登入口）	1 時間30分	和倉駅（能登線）
湯涌温泉	40分	金沢駅
粟津温泉	45分	粟津駅（時間により急行停車） 小松駅（特急停車駅）
片山津温泉・山代温泉 山中温泉	1 時間 } 1 時間20分 }	加賀温泉駅（特急停車駅）

（注）以上の各温泉は、全部金沢市とバスにて直通します。また鉄道利用の方は、最寄駅より金沢駅まで乗車、以降会場案内書によつて下さい。

第82回講演大会見学会・懇親会申し込みについて

見学会に参加を希望される方は下記要領をご覧の上奮つてお申し込み下さい。なお、今回も「婦人見学会」を編成いたしましたので是非ご参加下さるようご案内いたします。

記

1. 期 日 1 班～5 班 昭和46年10月15日(金) (但し、第4班は15日、16日)
6 班(婦人コース) 昭和46年10月13日(水)
2. 申込締切日 4 班 昭和46年 8 月28日(土) 12時着信まで
1, 2, 3, 5, 6 班 昭和46年 9 月20日(日) 17時着信まで
3. 申込方法 下記「見学会参加申込み上の注意」をご覧のうえ、別添申込用紙(1人1枚)に必要事項を記入し、会費(現金書留)を添えお申し込み下さい。会費の添付されないお申し込みは受け付けいたしません。なお銀行振込ならびに振替による申し込みはご遠慮下さい。
4. 会 見 学 費 先 } 見学班表をご参照下さい。
5. 申 込 先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階
日 本 鉄 鋼 協 会 見 学 会 係
電 話 東 京 (03) 279-6021 (代)

見学会参加申し込み上の注意

1. 見学会申し込みは本会会員に限ります。代理人の見学はお断わりいたします。
2. 申し込み締切りは第4班8月28日(土)12時着信までとし、その他の班は9月20日(月)17時着信までとします。
3. 申し込みは1人1班とします。申し込み多数の場合は抽選により決定いたしますので、申し込みの際には第3希望まで順位をご記入下さい。
4. 見学班が定員にいちじるしく不足する場合および見学先の突然の事情によりその班の見学中止あるいは行程を変更することがありますので、あらかじめご承知おき下さい。
5. 見学会が中止となつた場合は、大会終了後2週間以内に会費を返金いたします。ただし、お申し込みの取消しは9月25日16時着信までとし、以後は取消しの申し出があつても返金いたしません。ただし第4班については申込後の取り消しは一際いたしませんのでご注意ください。
6. 各班とも工場内での写真撮影は禁止といたします。また見学班表中*印は同業者の見学をお断りいたします。
7. 各班とも集合時間が違つていますので十分ご注意ください。
8. 見学費の領収書は見学班が決定後、見学券といつしよに送付いたします。

懇親会の申し込みについて

講演大会に際し全国各地からお集りになる会員各位の親睦の場として、下記のごとく懇親会を開催いたします。会費などについても、より多くの方々にお気軽にご参加いただけるようにいたしました。

また、この機会に会員各位ご夫人同伴でご参加いただき、より明るい雰囲気のご催しとしたいと思いますので、多数ご参加下さるようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 昭和 46 年 10 月 13 日 (月) 13:00～20:00
2. 会 場 MROホール(金沢市本多町)
3. 会 費 1500 円(同伴夫人はご招待いたします)
4. 申込締切日 昭和 46 年 9 月 20 日 (月)
5. 申込方法 別添申込書に必要事項ご記入のうえ、会費(現金書留)を添えお申し込み下さい。
なお見学会にも参加希望される方はなるべく見学会の申込時に一括お申し込み下さい。
銀行振込ならびに振替による申し込みはご遠慮下さい。
6. 申 込 先 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階
日 本 鉄 鋼 協 会 懇 親 会 係 電 話 東 京 03-279-6021

第82回講演大会「見学会」参加申込書

申込締切日 4班: 昭和46年8月28日(土) 12時着信まで

1, 2, 3, 5, 6班: 46年9月20日(月) 17時着信まで

送付方法 申込書添付のうえ、現金書留にてお払込み下さい。

送付先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階

日本鉄鋼協会 見学会係

会員資格	名誉	賛助	正	学生	該当を○で囲んで下さい。
ふりがな 氏 名					
勤務先および 職 名					
勤務先所在地 (郵便番号)					
領収書送付先 (郵便番号)					
通信先(勤務 先と違う場合) (郵便番号)					
第1希望		班		送金額 円	
第2希望		班			
第3希望		班			
第6班(婦人コース)					

.....切.....取.....線.....

第82回講演大会「懇親会」参加申込書

申込締切日 昭和46年9月20日(月) 17時着信まで

送付方法 申込書添付のうえ現金書留にてお払込み下さい。

送付先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階

日本鉄鋼協会 懇親会係

会員資格	賛助	正	学生	該当を○で囲んで下さい。
ふりがな 氏 名				
勤務先および 職 名				
勤務先所在地 (郵便番号)				
領収書送付先 (郵便番号)				
通信先(勤務 先と違う場合) (郵便番号)				
ご夫人名			送金額 円 1500	

第 15 回材料研究連合講演会

主催 日本学術会議材料研究連絡委員会 共催 日本鉄鋼協会, ほか
期 日 昭和 46 年 9 月 8 日(水), 9 日(木)
会 場 日本学術会議 (東京都港区六本木 7-22-34)
講演部門 I. 材料の微視的構造 V. 構造物強度
 II. 材料の力学的性質の挙動 VI. 材料の加工と処理
 III. 材料の物理的性質 VII. その他
 IV. 材料の化学的性質 S. シンポジウム 主題—複合材料—

		A 会 場	B 会 場	C 会 場	D 会 場
8 日(水)	前	S (9:00~12:00)	II (9:00~12:00)	II (9:00~12:00)	II (9:20~10:20) I (10:20~12:00)
	後	S (13:00~14:20) S 主題講演 (14:30~17:00)	II (13:00~14:20)	II (13:00~14:20)	IV (13:00~14:00)
9 日(木)	前	II (9:00~12:00)	II (9:00~12:00)	VII (9:00~12:20)	VI (9:00~12:00)
	後	特 別 講 演 (13:15~14:25) II (14:40~15:40)	II (14:40~16:00)	VII (14:40~16:00) II (16:00~16:40)	II (14:40~16:20)

講演予稿集予約募集

予 約 価 1冊 1,000円 (締切日以後 1冊 1,200円) 締 切 日 8月15日
 申 込 方 法 ハガキ大の用紙に「第15回材料研究連合講演会予稿集申込み」と記し, 氏名, 送本先を明記のうえ
 現金書留で下記あてご送金ください。
 申 込 先 〒 101 東京都千代田区神田駿河台 1-5
 社団法人 日本化学会内 第15回材料研究連合講演会係 (電話) 03-202-6161 (代表)

金 属 表 面 の 化 学 (金属学会セミナー)

協賛 日本鉄鋼協会, ほか 13 学協会

第 1 次 日 時: 昭和46年 8 月 18 日(水)~20 日(金)

場 所: 都道府県会館本館 (東京都千代田区平河町 2-4 電話 (03) 265-6411)

第 2 次 日 時: 昭和46年 9 月 1 日(水)~3 日(金)

場 所: 大阪府社会福祉会館 (大阪市南区田島町 2 電話 (06) 762-5681)

聴 講 料 (テキスト代を含む)
 会 員 9,000円
 (維持員会社の社員を含む)
 非 会 員 15,000円
 学 生 会 員 3,000円
 学 生 非 会 員 4,500円
 (協賛学協会の会員は会員聴講料とします)

定 員 250名(ただし定員に達し次第締切ります)
申 込 要 領 所定申込書の各欄ご記入の上, 聴講料を添え
 (現金書留, 為替, 振替 仙台 5592 のいずれ
 でもよい) お申込み下さい。受理次第聴講券
 をお送りいたします。
申 込 先 980 仙台市大町 1 丁目 1 番 13 号 (東活ビル)
 日本金属学会 電話 (0222) 23-3685

申込締切 昭和 46 年 8 月 15 日

日 程

- | | |
|---|--|
| <p>第 1 日</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 問題点と展望—電子スペクトロスコープによる
表面研究の動向 電子技術総研 中山勝矢 2. 金属単結晶清浄表面の構造と物性
京大理 恩地 勝
東大工 笛木和雄 3. 金属表面の熱力学 4. 金属表面の反応速度—電極反応速度の記述—
横浜国大工 高橋正雄 <p>第 2 日</p> | <ol style="list-style-type: none"> 5. 金属表面の触媒活性 東工大理 安盛岩雄 6. 表面化学結合 東大物性研 井田洋夫 7. 吸着, 電気二重層 大阪市大工 長浦茂男 <p>第 3 日</p> <ol style="list-style-type: none"> 8. 不 働 態 理化研 大塚陸郎 9. 酸化皮膜 早大理工 中山忠行 10. 固体表面におけるメカノケミストリー
—ころがり摩擦における金属材料の疲れ—
東工大大 桜井俊男 |
|---|--|

SYMPOSIUM ON BLAST FURNACE INJECTION

15—17 February, 1972

WOLLONGONG UNIVERSITY COLLEGE

TENTATIVE PROGRAMME

Tuesday, 15 February

- | | |
|--|--|
| L. Coche (IRSID)
(France) | Opening Lecture—"Why Injection—some facts and figures". |
| N. B. Molcher (U. S. Bureau
of Mines) | "State of the art of blast furnace injection in U. S. A". |
| A. K. Vroeghe (Hoogovens)
(Holland) | "Blast furnace injection at Hoogovens Holland". |
| B. I. Kitaev (U.S.S.R.) | "Computation of the combined blast" |
| A. B. Chatterjea
(India) | "Comparative evaluation of the petroleum naphtha and fuel oil
injection for iron smelting". |
| E. Iwamura (Kawasaki)
(Japan) | "Heavy oil Injection into blast furnace". |
| M. A. Stefanovich
(U.S.S.R.) | "The influence of the thermal state of the blast furnace on
the effectiveness of injection. |
| B. H. P. Co. Ltd.
(Australia) | "Injection experience at B. H. P". |

Wednesday, 16 February

- | | |
|-------------------------------------|--|
| Z. I. Nebrasov
(U.S.S.R.) | "Some considerations of natural gas injection". |
| T. Miyashita (N. K. K.)
(Japan) | "Gas injection into blast furnace stack". |
| G. Sironi (C. S. M. I.)
(Italy) | "Gas injection into the blast furnace with and without
oxygen enrichment of the blast". |
| A. I. & S. Pty. Ltd.
(Australia) | "Injection experience at A. I. & S |

Afternoon visit to the Port Kembla Steelworks of Australian Iron & Steel Pty. Ltd. and the Port Kembla Works of Electrolytic Refining & Smelting Company of Australia Ltd.

Special Non-ferrous Session

- | | |
|---------------------------------------|---|
| C. Coekelbergs (Hoboken)
(Belgium) | "Mathematical model of a lead water jacket blast furnace—
Influence of oxygen enrichment and preheat of the
blast on coke consumption". |
| P. Wand (E. R. & S.)
(Australia) | "The performance of the E. R. & S. copper blast furnace
with preheated air and fuel injection". |
| Thursday, 17 February | |
| J. Irani (Tata)
(India) | "Some consideration of the injection of pulverized coal-oil
slurry into the blast furnace". |
| V. K. Gruzinov
(U.S.S.R.) | "Influence of injectants on flame
temperature and furnace operation". |
| Harbison-Walker
(U. S. A.) | "The effect of injection on refractories in the blast furnace". |
| Sumitomo Metal
(Japan) | "Consideration of oil replacement ratio and oil injection
plus oxygen enrichment in blast furnace". |
| D. Bütlor (Salgitter)
(Germany) | "The effect of oil injection into the blast furnace". |
| V. V. Mikhailov
(U.S.S.R.) | "Computer control of injection as an aid to increasing
blast furnace productivity". |
| A. Decker (C.N.R.M.)
(Belgium) | Special lecture—"Future developments in blast furnace
injection". |